

令和3（2021）年度 第9回大阪産業大学校友会 幹事会議事録要約

開催日時：令和3年12月4日（土曜） 15:05～16:51

開催場所：アットビジネスセンターPREMIUM 大阪駅前 1208号室〈対面&Remote Host〉

（所在地：大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビル12階）

会議（10:00から第10回支部長懇談会、13:00から会長・副会長・部長打合、
14:00から総務部会・運営事業部会・広報事業部会開催）

会議成立：出席者…29名（委任を含む）・成立要件…出席者数20名以上

議長：弓場 修治（会長）

司会：今村 彰隆（副会長、会計長、就職支援委員会副委員長、
会則改正検討委員会副委員長）

事務局：高見 新一（事務局長）、高橋宣昭（事務室）

会議の目的事項(12月4日、一部変更=下線部)

1. 確認事項

- ・令和3年度 第8回 大阪産業大学校友会幹事会議事録（案）について
- ・令和3年度 第8回 同 要約（案）について

2. 報告事項

- ・会長、各部会報告（総務部会、運営事業部会、広報事業部会）、事務局
- ・委員会（就職支援準備委員会、会則改正検討委員会、
校友会活性化プロジェクト委員会〔仮称〕）
- ・令和3年度支部活動助成金の申請状況について
- ・令和3年度第56回阪駒祭ならびにクラブ助成金の交付結果について
- ・第10回支部長懇談会の反省事項について

3. 審議事項

第1号議案 令和4年度就職支援事業の継続について

第2号議案 支部長懇談会の日当について

（更に「支部長懇談会出席者への通信費補助について」に変更）

4. 協議事項

第1事項 令和4年度校友会事業計画（案）及び収支予算（案）について

議 事：

総務部長から議場に対して事前にメールで配信している議事録（案）、要約（案）について意見が求められた。意見等なく、議場の挙手による承認を得て「令和3年度 第8回 大阪産業大学校友会幹事会議事録」、「同要約」は確定した。

部会・委員会報告

総務部会

- 1：現行の「表彰規程」の見直し案について

運営事業部会

- 1：12月4日午前10時開催の「第10回支部長懇談会」の開催について、
- 2：令和4年度の休眠支部への対応について
- 3：令和4年度運営事業部予算案について

広報事業部会

- 1：令和4年度の『凡友』について
- 2：業者選定について

事務局

- 1：校友会事務局の年末年始の業務について

就職支援準備委員会

- 1：令和3年度契約中の就職支援の外部委託業者との契約継続について
- 2：委員会名称の「就職支援委員会」への変更について

報告事項

- 1：令和3年度支部活動助成金の申請状況について
- 2：令和3年度第56回阪駒祭ならびにクラブ助成金の交付結果について
- 3：第10回支部長懇談会の反省事項について

審議事項

第1号議案：令和4年度就職支援事業の継続について

就職支援委員長から、資料に基づいて、11月20日の就職支援委員会で、令和4年度もオムロンエキスパート社とマイナビワークス社との契約を継続することに決したことの説明があった。

意見：議場から、費用の価額と支援の有効性について発言があった。

対応：コロナ禍で、卒業直前でも内定を得ていないまま卒業する学生が相当数であるため就職相談指導の外部業者委託の支援を行う必要性と経緯について説明と確認があった。既卒会員の校友会員への情報発信力を強めるための検討も行っていることが付言された。就職相談の外部業者委託契約は継続して一定期間の取り組みを検証する必要があること、現在は月次の相談件数の報告を行っているとの説明があった。

議決：次年度の契約継続の可否について、挙手により採決の結果、賛成多数で可決された。

第2号議案：支部長懇談会の日当について（更に「支部長懇談会出席者への通信費補助について」に変更）

会計長から説明があった。代議員会、支部長懇談会の日当は会則で除外となっているので、「支部長懇談会出席者への通信費補助について」として議場に承認を諮った。結果、了承多数で審議事項名を変更して審議が進められた。

意見：支部長懇談会の参加者にはコロナ禍でのリモート会議（特に携帯電話での参加）であったので通信補助の配慮は必要だとの意見があった。

対応：現状の会則との整合性、等の説明と提案があった。

議決：通信費補助として支給することについて挙手による採決がとられ、賛成多数で支部長懇談会での通信費補助2,000円が可決した。

協議事項

第1事項 令和4年度校友会事業計画（案）及び収支予算（案）について

総務部

○令和4年度は「就職支援外部委託料」を加算して、修正した。

（今年度に「予備費」で支出した分を令和4年度は総務部予算として計上したため）

運営事業部

○予算案の修正作業自体が部内検討の前段階であるとの説明があった。今後は来年1月の運営事業部会で絞り込んでいく予定である。

- ・「令和4年度の代議員会（懇親会）等の参加費の検討
- ・コロナ禍前の令和元年度の決算額を基に令和4年度の事業内容を想定する。
- ・「大学祭参加費」は、ホームカミングデー実施を大学との共催を想定する。
- ・校友会員間の親睦活性化のためにイベント企画を想定する。
- ・「旅費交通費」は支部総会の活性化のため、役員2名の参加を想定する。

*議場での意見交換の結果、運営事業部の想定項目は基本的に了解され目安の価額をだされた。イベント費についてもその主旨に賛同が得られた。

広報事業部

- ・「会報費」をアンケート、等の実施のため修正。
- ・「会報費」（95号 送付料）を、ページ数増などを見込んで修正。

その他事項

○「校友会会員データベースの移行について」の扱いについて質問があった。

業者と事務局の情報の一元化だけでなく、情報のオープン化や情報活用の利便性向上、等、使える技術を踏まえて検討すればよいとの意見があった。

会長から、今後の校友会で必ず検討しなければならない重要なテーマである。「校友会活性化プロジェクト委員会（仮称）」での検討事項で扱うか、また「IT委員会（仮称）」を新たに設置するか、よい方法を検討して実現しなければならないと方向性が示された。

以上